

第1学年通信

新風

宮崎学園
中学校
学年通信
第1号

素晴らしいスタートをきった102名！！

中学校に入学してもう少しで1ヶ月近くが経とうとしています。朝、教室の前に立っていると、元気よく挨拶し登校してくる生徒が多く、さわやかな気持ちになります。先週と今週は各種委員会や新入生歓迎会、部活動紹介があり、1年生は先輩方の発表や演技を真剣に見ていましたね。部活に入る人は、勉強と部活動の両立が課題となる日々が始まりますが、同級生や先輩とよい人間関係をつくるとともに素晴らしい伝統を受け継いで、更なる前進を遂げてほしいと思います。



また、学習も軌道にのってきました。授業中は挙手したり質問したりするなど積極的に取り組む生徒が多く見られます。5月10日（木）と11日（金）には初めての中間テストも予定されています。学習の理解を深めるためには毎日の予習・復習が大きく左右します。テスト前になって慌てるのではなく、普段からの計画的な学習が必要となります。ゴールデンウィークを含めた時間の使い方を考え、今後の学習に取り組んでほしいと思います。

学び方のコツは！！

今日はあれをやり、明日はこれ、というように、あまり気が散ると、結局どれもものにならないですね。

同じことを、根気よくああでもない、こうでもない、とひねくりまわしているうちに、ハッと気がつく。これは学問に限らず、どの方面についてもいえることだろうと思います。

湯川 秀樹

強い力

陽子

中性子

π 中間子

K中間子

陽子や中性子を結びつける π 中間子の存在を予測した

湯川 秀樹
(Wikipedia)

日本で最初にノーベル賞を受賞したのが湯川秀樹さんです。

日常生活の中で少し面倒な問題をかかえ、「もう嫌だ、こんな事から離れたい」と思っているときにこの言葉が生きてきます。根気強く考える、それは、そのことだけに固執するというのではなく、同じことでも見方を変えれば、解決方法が浮かんで来るということなのです。それを「ハッと気がつく」という言葉で表しています。直感や思い付きが大切なのです。

同じくノーベル賞を受けた福井謙一さんは、紙とエンピツをはなさなかったといいます。夜中であろうが、思い付いたことは必ずメモをしていたのです。福井さんも湯川さんも、同じように直感を大切にしていたのですね。

～子どもに贈りたい120の言葉より～